

## GS 総合科学探究Ⅱ

### 論文の作成にあたって

1. 論文の基本的な構成は次の通りです。基本的な構成であるため、①～⑩のすべてを記しておく必要はありません。逆に必要であれば、①～⑩以外の構成が記されていても構いません。

- ①表紙（本校では、表紙はない。タイトルと所属、著者名を記し、続けて要旨を記す）
- ②要旨（日本語＋英語）
- ③序論
- ④基礎
- ⑤研究手法
- ⑥結果・考察
- ⑦結論・展望
- ⑧謝辞
- ⑨引用文献・参考文献
- ⑩付録

①～⑩それぞれの詳細については、「課題研究メソッド」（啓林館：2017年）p.126～p.128を参照すること。

2. 論文については次の評価規準を用いて評価します（愛媛大学課題研究評価ルーブリック（フルバージョン）ver1.0を一部引用・参考にしています）。

	S	A	B	C
論文の構成	S評価はない	論文に必要な構成がすべて示されている。	論文に必要な構成が一部不足している。	論文に必要な構成が不十分である。
要旨 (日本語)	要旨の構成として必要な背景、目的、方法、結果、結論等がきちんと示されている。また、簡潔かつ明快に示されており、本文や参考文献を参照しなくても、要旨を読むことで、論文に何が書いているのかが分かる。	要旨の構成として必要な背景、目的、方法、結果、結論等がきちんと示されており、要旨を読むことで、論文に何が書いているのかが概ね分かる。	要旨の構成として必要な背景、目的、方法、結果、結論のいずれかが示されていない、もしくは要旨を読むだけでは論文に何が書かれているのかが分かりにくいところがある。または、要旨の構成、要旨の内容の両方が不十分である。	要旨を読んでも、論文に何が書かれているのかが分からない。
目的と仮説	研究の目的や仮説が、先行研究を踏まえて明確に示されており、研究の目的や仮説を、なぜそれにしたのかが良く分かる。さらに、目的を探究する意義も明確で	研究の目的や仮説が、先行研究を踏まえて明確に示されており、研究の目的や仮説を、なぜそれにしたのかが良く分かる。	研究の目的や仮説は示されているが、先行研究との関連が弱く、研究の目的や仮説を、なぜそれにしたのかが分かりにくい。	研究の目的や仮説は示されているが、なぜその目的や仮説にしたのかが分からない。または、研究の目的や仮説が不十分である。

	あり，社会への貢献も期待できる。			
方法	研究の目的や仮説に沿った適切な方法で研究が進められている。さらに，研究の目的と仮説の達成・検証には十分な量と再現可能な方法が示されている。	研究の目的や仮説に沿った適切な方法で研究が進められている。研究の目的と仮説の達成・検証には十分な量である。	研究の目的や仮説に沿った適切な方法で研究が進められてはいるが，研究の目的と仮説の達成・検証には不十分な量であり，達成・検証には他の新たな方法が必要である。	研究の方法が明確に示されていない。または，研究の目的や仮説とは関係のない方法が示されている。もしくは，採用している方法が研究の目的や仮説を達成・検証するには不十分である。
分析と結果	十分なデータや資料が示され，それらに基づいたグラフや表などが適切に示されている。さらに，科学的もしくは数学的な手法を用いた分析が行われている。	十分なデータや資料が示され，それらに基づいたグラフや表などが適切に示されている。	十分なデータや資料が示されているが，それらをグラフや表として適切に表現するための工夫が不足している。	データや資料が示されているが，不十分である。もしくは，データや資料は示されているが，グラフや表として適切に表せていない。
考察と結論	研究の目的や仮説に沿った考察と結論が示されている。さらに，今後の展望や研究によって生じた新たな課題なども示されている。	研究の目的や仮説に沿った考察と結論が示されている。	研究の目的や仮説との関連性が弱い考察や結論が一部ある。	研究の目的や仮説に沿った考察や結論として不十分である。
表現と文体	統一された表現と文体で，必要な専門用語を用いて分かりやすく，論理的に書かれており，論文としての説得力がある。	統一された表現と文体で，必要な専門用語を用いて分かりやすく，論理的に書かれている。	統一された表現と文体で概ね書かれているが，必要な専門用語の不足や論理的でない部分が見受けられる。	統一された表現と文体でない部分や論理的でない部分が見受けられる。